事例No.	2783
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	和歌山県立和歌山工業高等学校産業デザイン科

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・人材確保・育成 ・ICT

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

高校生が博物館と創る「お身代わり仏像」の輪プロジェクト

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



高校生が博物館と創る「お身代わり仏像」の輪プロジェクト

和歌山県立和歌山工業高等学校産業デザイン科

DATA

事　例　名：高校生が博物館と創る
　　「お身代わり仏像」の輪プロジェクト
所　在　地：和歌山県和歌山市西浜3丁目6-1
　　和歌山県立和歌山工業高校
連　絡　先：TEL 073-444-0158
　　FAX 073-444-2510
ホームページ：https://www.wakayama-th.wakayama-c.ed.jp/

取組の概要

和歌山県では、少子高齢化により管理者の減少した寺社を狙う仏像の窃盗が頻発し、平成20年以降約300体に及ぶ仏像が盗難被害に遭ってきた。これを食い止め、地域の信仰の場を守るため始められたのが「お身代わり仏像」事業である。和歌山工業高校産業デザイン科3Dモデリング班の生徒が和歌山県立博物館と連携し、仏像の3Dスキャン・3Dプリントによって本物そっくりの「お身代わり仏像」を生み出す。そして本物を博物館で預かる代わりに高校生がこのお身代わりを奉納する。文化財の盗難対策であり、同時に高校生が新たな地域の輪を創る取り組みである。

評価された点

- 文化財の盗難対策に高校生が現代の技術で力を発揮する画期的で素晴らしい取り組みである。
- 寺社の仏像盗難に対し、高校生が文化財のレプリカを作成し、奉納しながらその保全に取り組んでいる点を評価。
- お寺の貴重なものを守り、人を安心させる取り組みである。最先端の技術を活かして地域課題を解決しているだけでなく、高校生、お寺、地域住民、博物館が連携しており、新たな交流につながっている点を高く評価。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

2010年～

- 文化庁補助金の活用。
- 視覚障害者のための地域学習教材の不足。

触れる資料としての文化財レプリカの製作
・和歌山工業高校生徒による3Dプリンタを使った能面の高精細レプリカ製作。視覚障害者のための博物館体験。



きっかけ 2010年　仏像盗難の大量発生



2012年～

- 高野山や熊野三山などに代表される豊富で貴重な文化財。
- 少子高齢化の急激な進行。
- 止まらない仏像盗難被害。
- 地域よりお身代わりの要望多数!
- レプリカの安定した製作体制確立が必要。

仏像レプリカを盗難対策としての「お身代わり仏像」に転用
・地域で維持管理できなくなった仏像のレプリカを製作し、高校生らが奉納。
・本物を博物館でお預かり。
・地域に安心と高校生との精神的なつながりが生まれる。



2016年～

- 村全体で大切に守り伝えてきた重要文化財を管理できないほどの少子高齢化。

お身代わりの着色を和歌山大学教育学部の学生と協力



2022年～

- 文化庁、県教育委員会と連携。

重要文化財のお身代わり仏像製作



今後の展望

協力の輪を拡大
奉納先のお寺の近隣の高校生に着色を協力してもらい、地域とのつながりを強化する。

受賞者のコメント

この度は本校の取り組みを表彰していただき心より感謝申し上げます。この喜びを関係するすべての方々と共有したいと思います。この取り組みにおいては、貴重な仏像の取り扱いに慎重さが求められ、計測データの修正作業にも時間がかかりますが、奉納する場面で人々が喜ぶ姿を見て、自分たちが地域の人々の役に立っているということを生徒が実感しています。今回の表彰を機に、なお一層、地域貢献活動に取り組んでいきたいと思います。